

開催協議会名	令和4年第2回 津和野警察署協議会		
開催日時	令和4年6月28日（火）13時30分から16時まで		
出席者	協議会委員	4人（松浦会長、田中副会長、齋藤委員、岩本委員）	
	警察署	5人（本職、副署長、交通課長、警備課長、総務係長）	
会議・協議	署長からの 諮問等	報告	管内の災害対策危険箇所
		説明概要	津和野町、吉賀町の災害担当者と当署員が連携し、管内の災害危険箇所の把握状況を説明 各町に土石流、冠水、土砂崩れのおそれのある主な災害危険箇所18か所を説明 平成25年に発生した津和野町豪雨災害の被害状況も説明
	答申(意見等)	○ 吉賀町地内ヨシワ工業前の道路は通学路である。そこは豪雨になると、用水路から水があふれることがあり、危険である。 回答（警備課長） 道路管理者は島根県、吉賀町であり、関係機関と連携し、対応する。 ○ 防災訓練を地域で実施するが、豪雨時、高齢者は避難しない傾向にある。そういった世帯に侵水の目安となるメモリがあれば良い。 回答（警備課長） 国、県等の関係機関は想定浸水域を河川、公共施設等に設置している。豪雨等の災害が発生すれば、警察として適切に対応したい。	
	諮問事項	令和4年度下半期速度取締り指針	
	説明概要	当署管内における交通事故実態（路線別、時間帯別発生状況）を分析した結果から、 ○ 速度取締り重点路線と時間帯 ○ 管内主要交差点での交差点関連違反取締りの強化 を示し、本年下半期の取締り指針について諮問した。さらに指定路線・区域・時間帯等以外に	

		も ○ 白バイ、パトカーによる機動取締り、ランダムな取締り、悪質な飲酒取締りの推進を併せて説明した。
	答申(意見等)	○ 速度違反取締り等の交通違反取締りは、交通事故防止に大切であるが、姿を見せる活動・指導も効果的であると思う。地域の通学路の見守り活動に一定の効果があり、最近横断歩道付近に歩行者がいれば、車が止まる傾向にある。こういったことから広報啓発活動が重要である。 回答（交通課長） 幹線道路の速度取締り等はドライバーに緊張感を与えるため、継続して推進していきたい。一方で、管内では随時交通安全の講習・実技指導を予定しており、今後も継続して速度取締りの他、交通安全教育、広報啓発活動を推進して交通事故抑止対策を強化する。
視 察	津和野警察署、航空隊、津和野町との災害対応訓練	
	訓練想定	大規模災害発生時による土砂及び河川の氾濫が多数発生、孤立集落となり被災状況の把握が困難であることから、航空隊ヘリが出勤し、ヘリテレ映像による情報収集活動、津和野町災害対策本部に情報伝達をしていたところ、被災者を発見したとの想定で、 ○ 情報伝達及びヘリテレ映像伝送訓練 ○ 災害時における航空隊ヘリ離着陸訓練 ○ 担架による被災者搬送訓練 を実施した。
	委員からの感想	日頃から防災に備えて訓練を行っていることを知り、心強く思う。今後も訓練を重ねて練度を高め、有事に備えてほしい。

会長挨拶



署長挨拶



報告状況



意見交換状況



視察状況（ヘリテレ映像）



視察状況（航空隊ヘリ離着陸）



視察状況（被災者搬送訓練）



視察状況（隊員による航空隊ヘリ説明）

